

重要取組シート

市長公室 政策企画部 公民連携課

取組項目	大阪広域データ連携基盤「ORDEN」を活用したデータ連携の推進	
現状・課題	【現状】 ○人口減少・高齢化の進行に伴う社会情勢の変化に対応し、きめ細かに住民サービスを提供し続けるためにはパーソナルデータを含むデータの把握・利活用が不可欠です。 ○スマートシティ実現にはデータ連携基盤である都市 OS の活用が重要であり、本市は、大阪府が構築した都市 OS「ORDEN」や大阪総合行政ポータル「my door OSAKA」を活用し、府内の市町村に先駆けて令和 6 年度にサービスを開始しました。 ○現在は、様々な情報が個人の興味や関心事に絞られてダイレクトに届く「おすすめ配信」、各種手続きや親子さかすくナビのアプリサービスの利用がシームレスに一つの窓口で可能となる「ワン ID 化」、保育施設の利用調整結果等をスマートフォンで確認できる「デジタル通知」のサービスを提供しています。 【課題】 ○子育て世帯を中心に「my door OSAKA」を利用いただいておりますが、更なる利用者増に向けて幅広い年代の方々が利用するサービスを導入する必要があります。 ○都市 OS を活用した公民のデータ連携による新たなサービスの創出に向けて、庁内データの整理やデータ分析・活用の方針の策定、人材育成等が必要です。	
取組の内容	○幅広い年代の方々に「my door OSAKA」をご利用いただくため、ワン ID 化やデジタル通知の対象となるサービスの拡充に向けて取り組みます。令和 7 年度は図書館情報システムとの ID 連携を進めます。 ○公民のデータ連携によるサービスの創出の実現のため関係部局と連携し、庁内データの整理やデータ分析・活用の方針の策定、人材育成に取り組めます。	
スケジュール	前期 (～9月)	□ワン ID 化やデジタル通知のサービス拡充に向けて関係部局と協議（4 月～） □庁内データの整理やデータ分析・活用の方針の策定、人材育成の支援に向けて関係部局と協議（4 月～） □令和 6 年度に保育施設の利用調整結果等のデジタル通知を利用した方にアンケートを実施（4 月） □ワン ID 化のサービス拡充に向けて、「my door OSAKA」と図書館情報システムの ID 連携に向けた準備（5 月～） □スマートシティが実現した具体的なサービスイメージ案の作成等、データ連携に向けた方針等の作成準備（5 月～） □他市事例等を基に個人情報取扱いに関する知識や理解の向上に資する普及啓発手法の研究開始（5 月～） □関係部局においてデータ分析・活用の方針の策定（5 月） □4 月に実施したアンケート結果を基に、関係部局とデジタル通知の事務手続きの見直しや令和 7 年度登録促進キャンペーン内容等を協議（5 月） □大阪府が開催する府内市町村向け「my door OSAKA」勉強会において本市の取組事例等を発表（5 月、7 月）

(様式 4)

	後期 (～3月)	☐ ワン ID 化やデジタル通知のサービス拡充に向けて関係部局と協議（4月～） ☐ 庁内データの整理や人材育成の支援に向けて関係部局と協議（4月～） ☐ 令和 8 年 4 月入所を対象とした保育施設の利用調整結果等のデジタル通知を送付（1月～） ☐ 「my door OSAKA」と図書館情報システムの ID 連携開始（3月）		
	次年度以降	☐ ワン ID 化やデジタル通知のサービス拡充 ☐ 庁内データの活用状況や次期堺市基本計画を踏まえ、データ連携に向けた方針等を作成		
進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	(1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上		
	寄与する KPI	行政手続きのオンライン化率		目標値（2025 年度）
				100%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを （市民の QOL を高めるスマートシティの推進）	
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度）
				—